

テーマ: 自然

西巣鴨第三保育園(豊島区)

テーマを設定する

園庭での活動や、散歩で公園を探索する際、アリ、ダンゴムシ、石、枝などの自然物を見つけて興味を持つ子どもの姿があったので、身近な「自然」をテーマに活動を広げていけたらと思った。自然物を使ったあそびはあまり経験がないので、自然物を取り入れたダイナミックな活動をする機会にしたい。

活動① アーティストワークショップ1

透明テープのキャンバスに自然物やいろいろな素材を貼り付けていく造形活動①

環境をデザインする

●準備した物 突っ張り棒、透明テープ、葉っぱ、木の実、羊毛、綿、毛糸、、カラーセロハン、アルミホイル、ラップフィルム、水性マーカー、スピーカーほか

探究活動を実践する

●活動内容

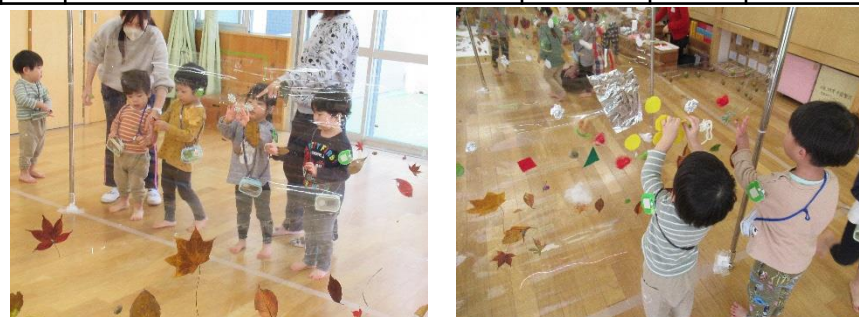
- ①ホールに設置された、棒の間に広範囲に透明テープを貼り付けてつくった大きなキャンバスに触ってみる。(触るとちょっとベタベタする。どんな風に使うのかな?)
- ②園庭を散策。お気に入りの葉っぱを見つけて取ってくる。
- ③子どもたちが事前にお散歩の際に集めてきた葉っぱや木の実の色や形を見比べてみたり、匂いを嗅いだり、触った感触を楽しんでいく。
- ④ 自然物を使った造形にチャレンジ。透明テープのキャンバスに、お気に入りの葉っぱや木の実などを貼り付けていく。
- ⑤羊毛や綿、毛糸やセロハン・アルミホイルといった異なる素材を順繰りに提供、自分のお気に入りの素材を見つけながら、更にキャンバスに貼り付けていく。
- ⑥ マーカーペンで透明テープのキャンバスや貼り付けた 葉っぱなどに色付けをしていく。
- ⑦ いろいろな素材に彩られた作品が完成。最後にできた作品を鑑賞して終了。

●子供たちの様子

・みんなが集めた木の実や葉っぱ。白い紙の上で色や形がとってもきれいで、宝石を見つめているようだ。
・アーティストが差し出した葉っぱに顔をよせて、鼻でくんくん…「ほうれんそう?」「にら?」
・マーカーペンを両手に持って、右へ左へと動きながら、縦横無尽に線をピュー!
・フェルト、アルミホイル、毛糸…ひとつひとつを大事に見つめながら貼っている。形や色や並び方で音楽を奏でているような世界観を感じました。

活動スケジュール(2歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:カブ(美術家)他2名	R6.11.28 (木)	60分 程度	17人
② アーティストワークショップ2 講師:カブ(美術家)他2名	R6.12.11 (水)	60分 程度	18人
③ クラス活動	R612.25 (水)	50分 程度	15人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

・アーティストが頃合いを見計らって、新しい素材を追加して提供してくれたことで、子どもたちの視点や興味が変わって、思った以上に子どもたちの集中力が続いていた。
・ただ葉っぱを張り付けて製作を行うだけではなく、自然素材の匂いを嗅いだり、感触を楽しんだりするといった発想は保育士にはなかったもので、勉強になった。五感をいっぱい使った造形活動になった。
・後半になっていくにつれて、友達のやっている活動の真似をしたりする子がでてきて、活動が伝播して広がっていく様子が面白かった。
・普段、様子見になりがちな子が、最初から創作に入り込んでいたり、それぞれが自分なりの楽しさを発見している姿があった。素材と環境が整うと、子どもたちの積極性や想像力が広がっていくということが、改めて分かった。

テーマ：自然

西巣鴨第三保育園(豊島区)

活動② アーティストワークショップ2

透明テープのキャンバスに自然物やいろいろな素材を貼り付けていく造形活動②

環境をデザインする

●準備した物 前回製作した造形物、カラーセロハン、シール、マスキングテープ、トレーシングペーパー、水性マーカー、模造紙、投光器、プロジェクター、スピーカーほか

探究活動を実践する

●活動内容

- ①前回は製作した造形作品を上下逆さにして、新たに透明テープを貼り付けてつくったキャンバスを再設置。子どもたちは、前回の作品を鑑賞しながら、新しく設置されたテープのキャンバスに触れてみる。
- ②「今日はキラキラした素材をいっぱい貼り付けて、後でライトの光を当てて、どんな風にキラキラするか見てみましょう」
- ③自分のお気に入りのキラキラの素材(カラーセロハン、シール、マスキングテープ等)を見つけ、新しいキャンバスに貼り付けていく。
- ④室内の照明を消して、キャンバスにライトの光を当ててみる。
- ⑤トレーシングペーパーやクリスマス飾りのガーランドモール等、異なる素材を順繰りに提供、マーカーペンで着色も。
- ⑥室内の照明を消して、プロジェクターからキャンバス越しに、クリスマスイメージした映像を投影。キャンバスに張り付けられた素材が映像の光に反射したり、スクリーンに映る影が変化の様子を楽しむ。
- ⑦映像が流れる中、プロジェクターの前に立って、自分たちの体の影をスクリーンに投影。移動しながら、空間の光と影のコントラストを楽しむ。

●子供たちの様子

- ・キャンバスに貼り付けた手を離すと手形が残ることに気付いた。その手形に、向かいの子がテープ越しから手を合わせてみると…「てがた、ついた!」「べたべた、のりみたい」
- ・細長い形を貼りつけると長い道ようになった。どこまで延ばしていこうか指でなぞりながら考え、貼り続ける。
- ・まだ何も貼られていない空間を見つけ、そこを好きな色で埋めていく。重ねずまっすぐ貼るのがこだわり。
- ・プロジェクターでみんなの作品が光に照らされて、たくさん影と色が浮かび上がった! ホール全体がキラキラの世界となり、じっと見入っている。



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・素材の扱い方ひとつとっても、重ねて貼ってみたり、ちぎって形を変えてみたり、丸めてみたりと、保育士からの発信ではなく、子どもたち自らが考えて、楽しみながら製作している姿があった。子どもたちの創意工夫が随所にみられた。
- ・素材を自由に選んで使えることで、それぞれがこだわりを持って、自分の表現を楽しめる時間になった。
- ・2回目ということもあって、初回に比べて、いろいろな表現方法を発見しながら製作に打ち込む子どもたちの姿があった。子どもたちのこだわり方に、一人ひとりの個性がでていて面白かった。
- ・前回製作した造形物を上下逆さにセッティングするなど、保育士では思い付かない発想や展開などがあり、興味深かった。素材の使い方や提供の仕方など、参考になることがたくさんあり、今後の保育での活動にも活かしていきたい。